

## 夢に向かうことの素晴らしさ (夢講演会より)

先日、1・2年生が学年末テストを終えました。テスト期間中に、1年間の学習の成果を確認するための診断テストもあり、大変だったと思います。子どもたちはほっと一息つくとともに、「もう少し頑張れたかな」と少し後悔の思いが巡っているかもしれません。良くも悪くもその経験の一つひとつが自分自身を成長させてくれる糧となるものです。テストの点だけに一喜一憂するのではなく、自らの経験を学びに変えていこうとする意識をしっかりと身につけることが大切です。

そのテストが終わった2月20日(火)の6校時に開催した夢講演会で、田中伶奈さん(三豊市出身、鹿児島国体成年女子棒高跳び優勝)のお話を聴きました。昨年の3月に大学を卒業後は地元企業に就職し、仕事とともに陸上選手を続けている田中さんは、『なりたい自分になる』という講演のなかで、子どもたちに次のような話をしてくれました。

### I どうせやるなら勝ちたい

高校2年のインターハイで全国2位になった後、高校3年では絶対に優勝すると決めた。そのために、①言われたこと+ $\alpha$ を意識、②当たり前前を当たり前(習慣になると余裕が生まれる)、③考える癖付け(準備しておく心で余裕が生まれる)の3つを常に心がけていた。

### II 人生最大のスランプ

大学1年の時に踏みきりで失敗し、怖くて跳べなくなった。したくない、辞めたいと思ったが、もう一度お世話になった人に表彰台に立つ姿を見せたいと思い直し、基礎練習からやり直した。大学卒業後の大会で自己新記録を出すことができ、ようやくスランプを乗り越えられた。

### III 中学生に伝えたいこと

- ① なりたい自分を想像して、何が必要なのかを考える。
- ② 大きな目標だけでなく、小さな目標を達成していく。
- ③ コツコツは勝つコツ。(人生は思い通りにいくことばかりではない。続けてきたから今がある)
- ④ 感謝の気持ちはもつだけでなく、伝えることこそが大切。当たり前はない。



### 豊かな心

3月7日(木)・8日(金)の両日、3年生がいよいよ公立高校一般入試を受験します。そして、翌週の3月12日(火)は卒業式です。義務教育の最終年度に、進路選択への歩みを通して自分自身としっかり向き合い、目標の実現に向けて精一杯の努力を重ねてきたことで、一段と頼もしさを増したように感じます。その受験と卒業を控えた3年生に向けての在校生からのメッセージと、3年生から在校生へのメッセージが校内に掲示されています。在校生は、色々なところでお世話になった先輩に対して「激励」「お祝い」「感謝」の気持ちを伝えるとともに、先輩からは「これからの仁尾中を任せよう」という熱い思いを見て、胸が熱くなりました。3月12日は3年生とのお別れの日です。寂しさが募りますが、3年生の新しい門出を私たち全員で、とっておきの美しい言葉と心を贈ってお祝いしたいと思います。

